

新規事業評価調書

【砂防事業】

水木原川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

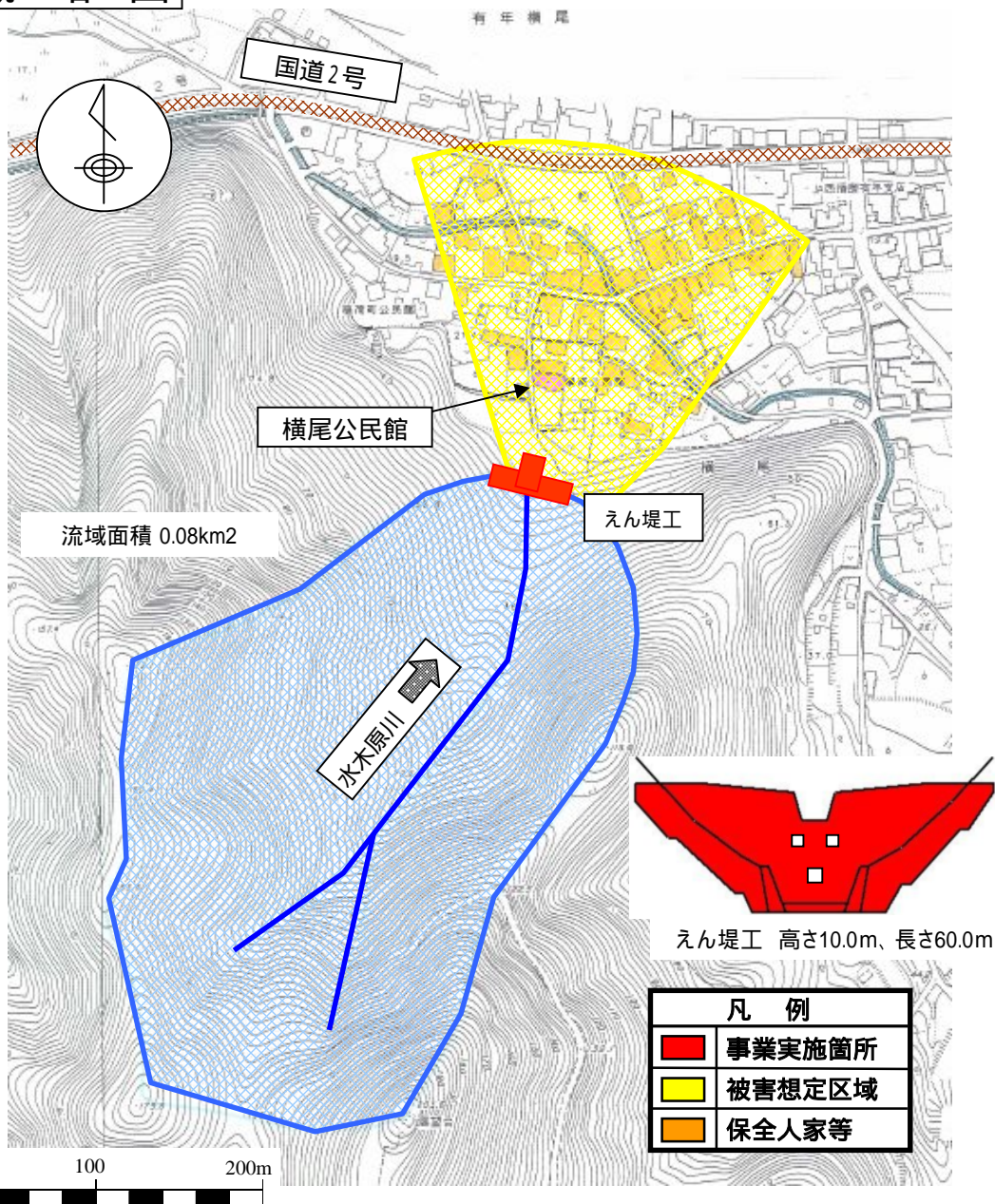
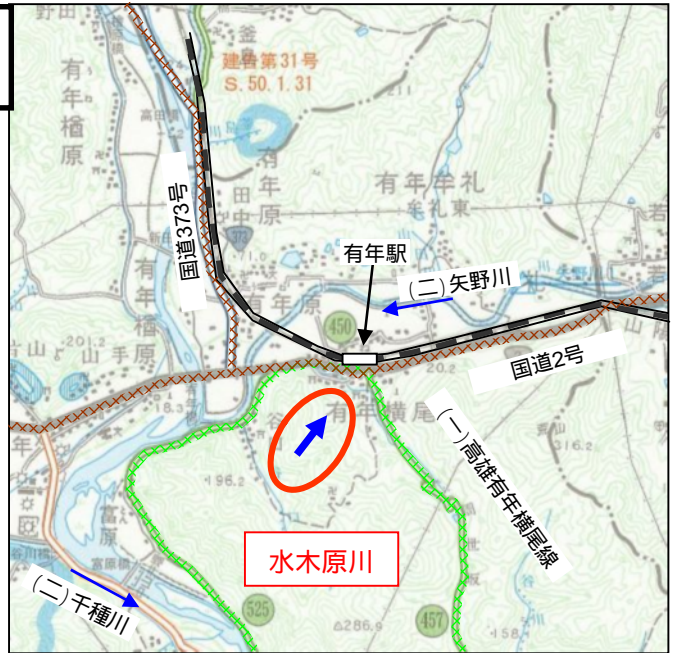
部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (砂防係長 山田弘)	内線	4459 (4465)
事業 種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 みずきはらがわ 水木原川	赤穂市 うねよこお 有年横尾	内用地 補償費	0.1億円
所在地			着手予定年度	完了予定年度	
赤穂市有年横尾			平成26年度	平成28年度	
事業目的			事業内容		
<p>土石流対策 当溪流は土石流発生の危険性が高いことから、土石流危険溪流となっており、保全対象は人家56戸、公民館、国道等がある。 そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>・砂防えん堤工 1基 (高さ10.0m, 長さ60.0m) 〔負担割合 国:1/2、県:1/2〕</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>(二)千種川水系矢野川に流入する土石流危険溪流である。近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。 溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>				
(2)有効性・効率性	警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。				
[事業執行環境]	地元要望も強く、周辺道路の利用に地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。				
(4)優先性	保全対象には人家56戸、公民館、国道などがあり、流域の荒廃が進行している。そのため、地元要望も強く、協力体制も見込めることから、早期事業着手を図る。				

みずきはらがわ
水木原川
[赤穂市]



計画概略図

位置図
1:50,000



凡 例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等